

# 2024年度事業報告書サマリー



# トピックス

- 1.事業
- 2.委員会活動
- 3.職員状況
- 4.施設整備に関する件
- 5.人材育成
- 6.広報に関する件
- 7.地域における公益的な取組
- 8.リスクマネジメント関係
- 9.その他特記事項
- 10.財務状況

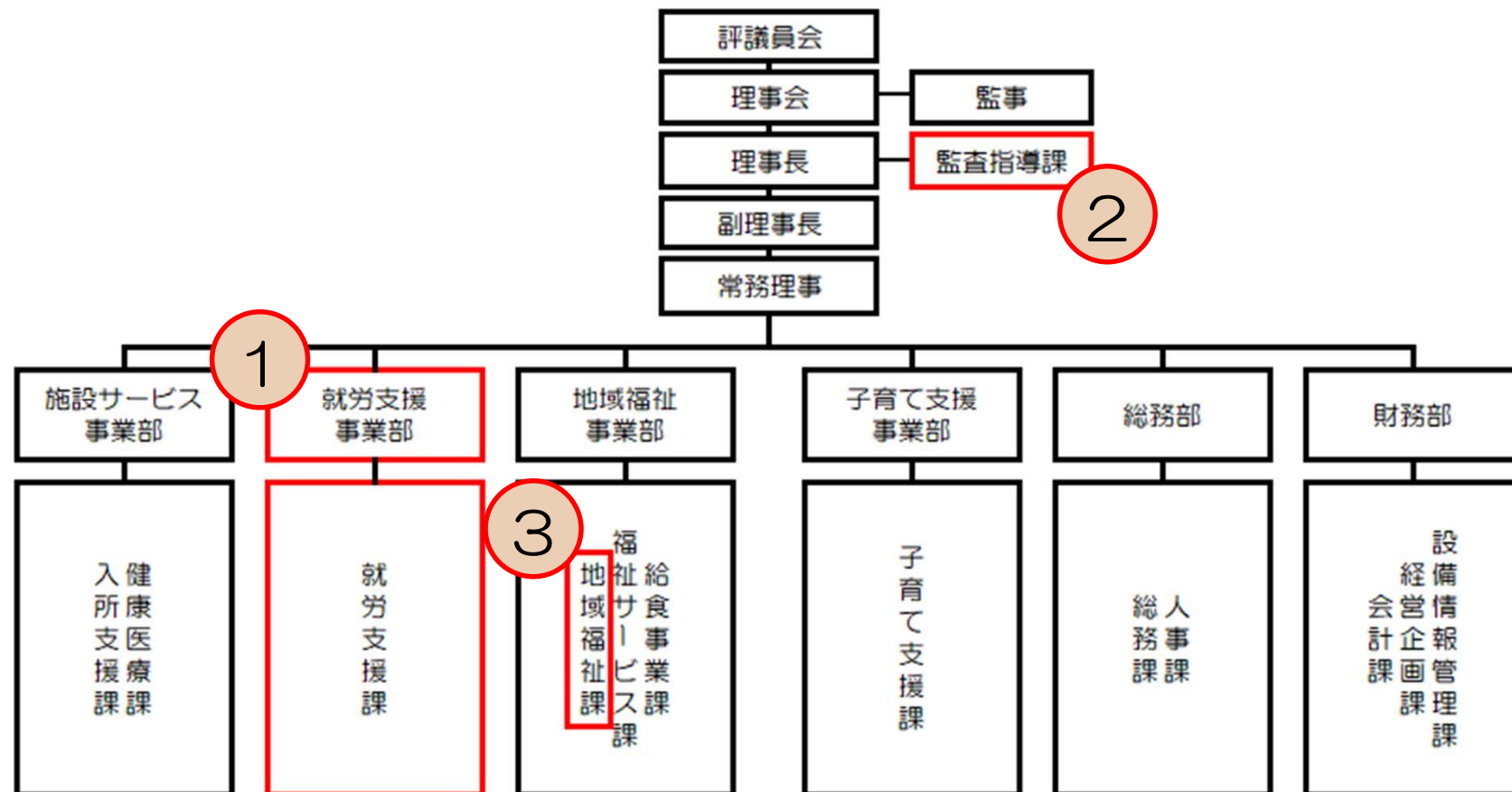
# 1-1.事業：組織体制

6部13課の組織体制で事業を運営しました。

①就労事業の拡大により就労支援事業部を新設。就労支援課、天竜福祉工場、天竜ワークキャンパス、みのり、天竜厚生会グループホームを所管とし、さらなる事業所間連携を図ることができました。

②監査指導部は再編し、監査指導課を理事長直下の部署としました。内部管理体制の運用が迅速に対応できる体制としました。

③通所支援課は再編し、高齢通所事業は地域福祉事業部地域福祉課の所管としました。同課内ケアサポートセンターとの連携など、より円滑に進むようになりました。



# 1-2.事業：事業一覧

下記の表一覧のとおり、新規事業・廃止事業を含む261事業を運営しました。

| 定款に定められた事業名                  | 事業数 | 定款に定められた事業名              | 事業数 |
|------------------------------|-----|--------------------------|-----|
| 公益：奨学金貸与事業                   | 1   | 公益：訪問看護事業                | 1   |
| 一種：障害者支援施設                   | 16  | 公益：地域包括支援センター            | 6   |
| 一種：救護施設                      | 3   | 公益：福祉用具貸与事業、販売、予防貸与、予防販売 | 8   |
| 一種：特別養護老人ホーム                 | 9   | 公益：自立相談支援事業              | 2   |
| 一種：軽費老人ホーム                   | 1   | 公益：生活困窮者就労訓練事業           | 19  |
| 二種：障害福祉サービス事業                | 32  | 公益：生活困窮者等一時居住支援事業        | 1   |
| 二種：老人短期入所事業                  | 8   | 公益：住宅確保要配慮者居住支援事業        | 1   |
| 二種：無料又は低額介護老人保健施設            | 1   | 公益：心身障害者訓練研修事業（研修センター）   | 1   |
| 老人短期入所事業（短期入所療養介護事業）         | 1   | 公益：介護員養成研修事業（研修センター）     | 1   |
| 公益：日中一時支援事業                  | 8   | 収益：物品販売業                 | 1   |
| 公益：生活援助員派遣事業                 | 1   | 二種：認定こども園                | 15  |
| 浜松市在宅重度身体障害者社会福祉施設利用入浴サービス事業 | 1   | 二種：保育所                   | 2   |
| 公益：診療所                       | 3   | 二種：放課後児童健全育成事業           | 5   |
| 二種：無料又は低額診療事業                | 2   | 二種：一時預かり事業               | 30  |
| 二種：相談支援事業                    | 17  | 二種：障害児通所支援事業             | 6   |
| 二種：移動支援事業                    | 2   | 二種：地域子育て支援拠点事業           | 10  |
| 二種：老人居宅介護等事業                 | 5   | 浜松市親子ひろば事業               | 5   |
| 二種：老人デイサービス事業（共生型含む）         | 11  | 休日保育                     | 1   |
| 二種：無料又は低額介護老人保健施設            | 1   | 二種：病児保育事業                | 3   |
| 精神相談支援事業所                    | 1   | 掛川市病後児保育事業               | 3   |
| 浜松市在宅重度身体障害者移動入浴サービス事業       | 1   | 公益：子育て世帯訪問支援事業           | 1   |
| 富士宮市身体障害者訪問入浴サービス事業          | 1   | 公益：事業所内保育所の受託事業          | 2   |
| 公益：居宅介護支援事業                  | 8   | 公益：水道事業                  | 1   |
| 公益：訪問入浴介護事業                  | 2   | 2024年度事業数合計              | 261 |



# 1-3.事業：新規事業

| 事業部      | 内容                                             |
|----------|------------------------------------------------|
| 就労支援事業部  | 新清掃工場及び新破砕処理センター（天竜エコテラス）<br>業務受託 本稼働開始        |
| 子育て支援事業部 | 子育てセンターかきのみ<br>浜松市子育て支援ひろば事業の受託                |
| 子育て支援事業部 | こども誰でも通園制度<br>試行的事業の実施（子育てセンターきぶね、子育てセンターかきのみ） |



# 1-4.事業：廃止事業

## （なぎさ保育園の閉園）

1978年（昭和53年）静岡県湖西市入出にて、地域保育ニーズに応える形で定員90名の保育園を開設。地域の子育て支援を目的とし、ご家族が安心して働くことができる環境づくりに努めてきました。地域の保育ニーズの変化に伴い、当園の役割が徐々に縮小し2024年度をもって閉園することとなりました。8月には思い出の展示会、3月に閉園式を行い、多くの卒園児、保護者、地域の方々に惜しまれながらも47年間の歴史に幕を閉じました。



閉園式



ちびっこフェスティバル



チャイルドサッカー

## （スネールクラブの廃止：子育てセンターこまつ）

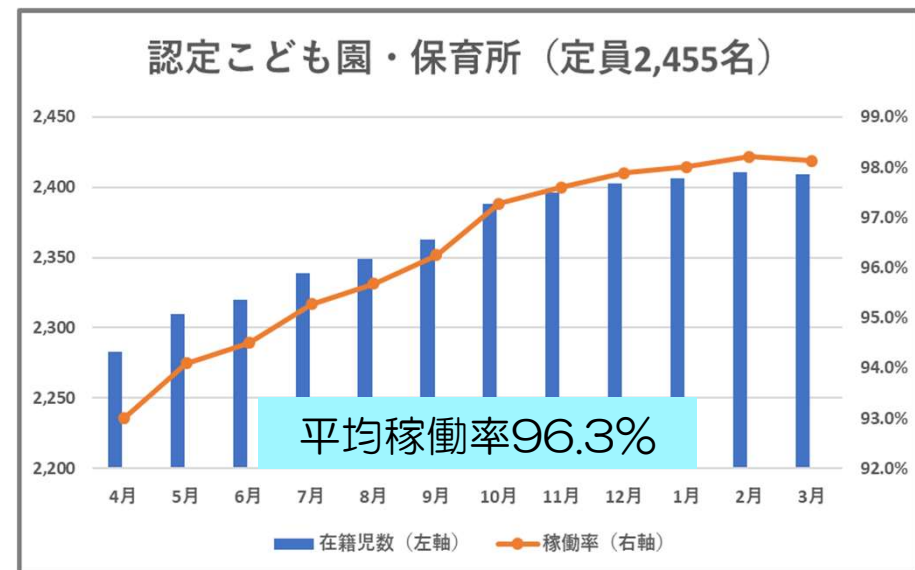
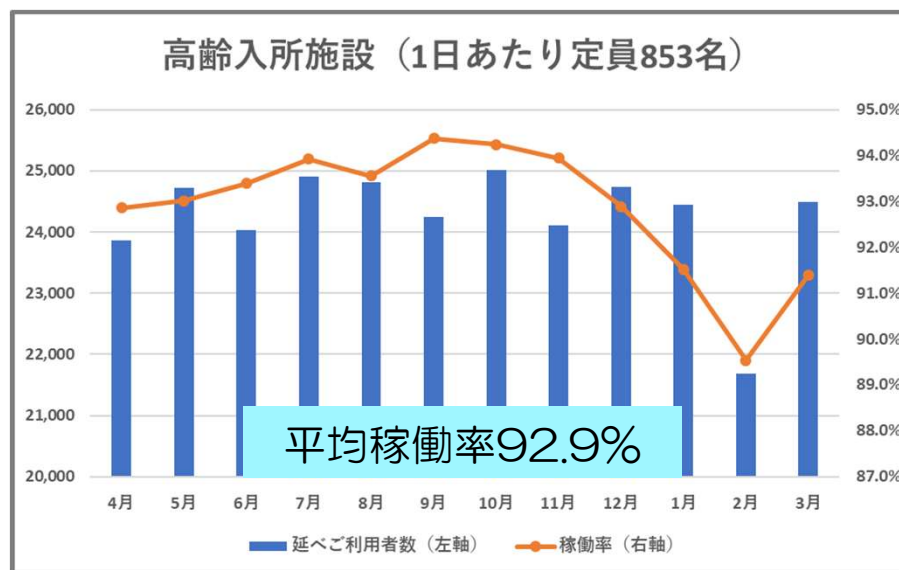
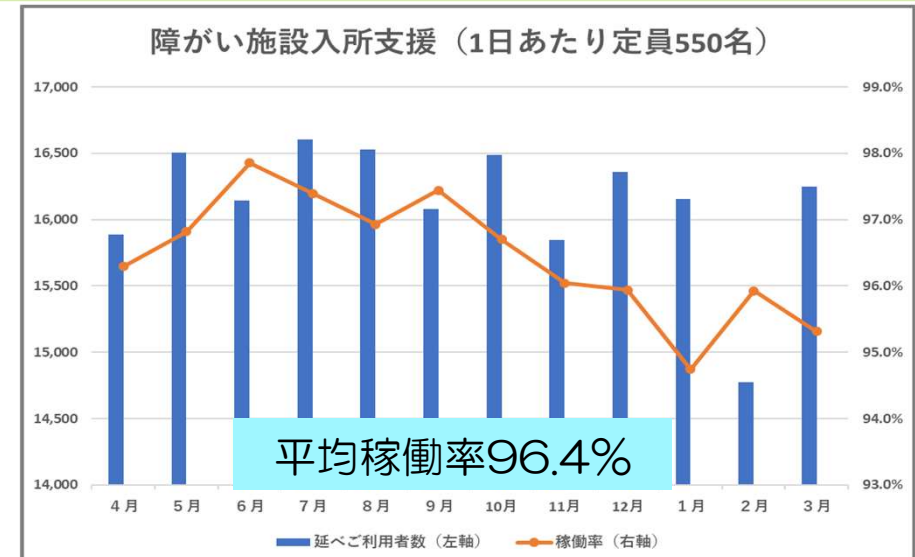
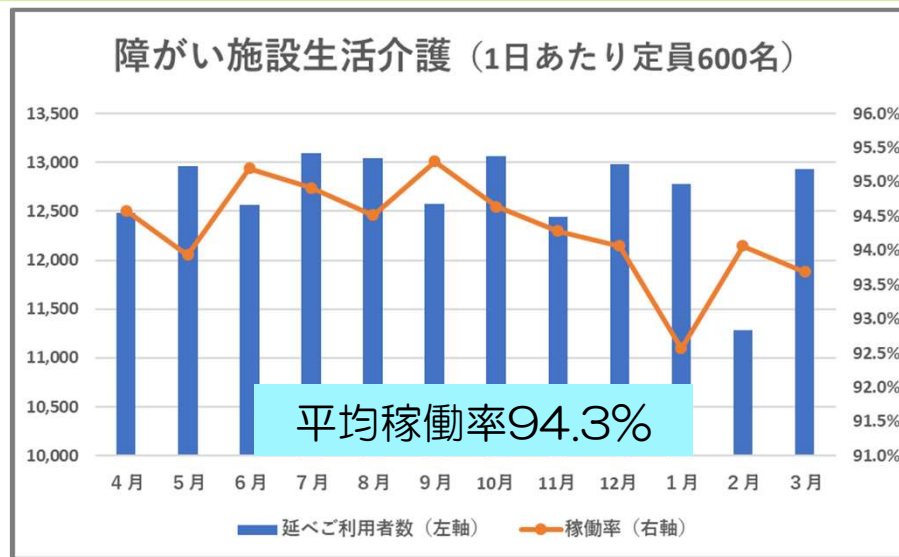
2004年（平成16年度）地域保育ニーズに応える形で、障がいのある子どもや発達に不安を抱える子どもを対象に、一時保育事業をこまつ保育園（現子育てセンターこまつ）で開始。日常生活を基盤とした保育園の機能を活用した育児支援を目的として基本的生活習慣の獲得を支援しながら、地域の幼稚園等への円滑な就園を目指し運営してきました。制度の整備や児童発達支援事業所の増加等により、本事業の役割が徐々に縮小している状況を踏まえ2024年度をもって廃止しました。



子育てセンターこまつ外観



# 1-5.事業：主な事業の状況



主な事業の稼働率は90.0%以上を維持しています。  
 詳細及びその他の事業の状況は事業報告書P.79～P.217をご覧ください。

稼働率には、なぎさ保育園を含む

## 2-1.委員会活動

下記17の委員会が活動しました。6部13課体制にて事業運営を行っていますが、横断的組織の方が対応しやすい案件の他、法的要求事項を満たすために委員会を設置して活動しました。

| No. | 委員会名              | 責任部署             | No. | 委員会名                    | 責任部署         |
|-----|-------------------|------------------|-----|-------------------------|--------------|
| 1   | 天竜厚生会感染対策委員会      | 施設サービス事業部（健康医療課） | 10  | 個人情報管理委員会               | 総務部（総務課）     |
| 2   | 厚生会まつり企画委員会       | 地域福祉事業部（福祉サービス課） | 11  | 広報委員会                   | 総務部（総務課）     |
| 3   | 厚生会まつり実行委員会       | 地域福祉事業部（福祉サービス課） | 12  | 衛生委員会                   | 総務部（総務課）     |
| 4   | 喀痰吸引等研修実施委員会      | 地域福祉事業部（福祉サービス課） | 13  | 人事考課推進委員会               | 総務部（人事課）     |
| 5   | 介護福祉士実務者研修検討委員会   | 地域福祉事業部（福祉サービス課） | 14  | 社会福祉法人天竜厚生会入札等参加資格審査委員会 | 財務部（設備情報管理課） |
| 6   | ISO改善委員会          | 監査指導課            | 15  | 防災管理・BCP策定委員会           | 財務部（設備情報管理課） |
| 7   | 天竜厚生会苦情検討委員会      | 監査指導課            | 16  | 交通安全委員会                 | 財務部（設備情報管理課） |
| 8   | 天竜厚生会リスクマネジメント委員会 | 監査指導課            | 17  | 省エネルギー推進委員会             | 財務部（設備情報管理課） |
| 9   | 天竜厚生会虐待防止委員会      | 監査指導課            |     |                         |              |

※黄色塗りつぶしは、法律等に基づく委員会



## 2-2.委員会活動：抜粋

### 防災管理・BCP策定委員会

各部署で策定されたBCPのブラッシュアップを進めるとともにBCPの演習事例を発信し、より実効性のあるBCPに近づけることができました。

加えてISO内部監査にて「自然災害におけるBCPの取り組み状況」を重点監査範囲とし取組を強化したことにより、指導監査でも的確な対応ができました。

### 広報委員会

広報誌「あかまつ」は当法人の事業内容、各施設の日常や行事等をご利用者やご家族、行政関係者、ボランティア等に理解いただき安心を届けるため年3回発行しています。広報委員会で記事の提案から選定を行い、より読者に伝わる広報誌づくりを進めています。161号よりリニューアルし、読者から「読みやすくなった」や「明るい雰囲気が良い」などの高評価をいただきました。別冊（職員だより）も身近な話題を掲載するなど職員と委員会双方向での紙面づくりに努めました。職員同士のつながりづくりや福利厚生制度を知る1つのきっかけとなっています。

EPISODE - 2 - 「天竜厚生会 B72」



20XX年  
7月24日（水）  
12:00

#### 共通

ご利用者は、建物内の安全な場所に避難し、幸い全員無事であることを確認しました。  
しかしながら、職員は多く被災し、通常の勤務人数の約30%しかいません。施設長や役職者（係長）と連絡はつかず、具体的な指示を受けることができません。  
しかも現存する職員のうちあなたが最も経験年数が長く、他の職員へ指示をしなければなりません。

### 演習資料（抜粋）



### リニューアル後の「あかまつ」

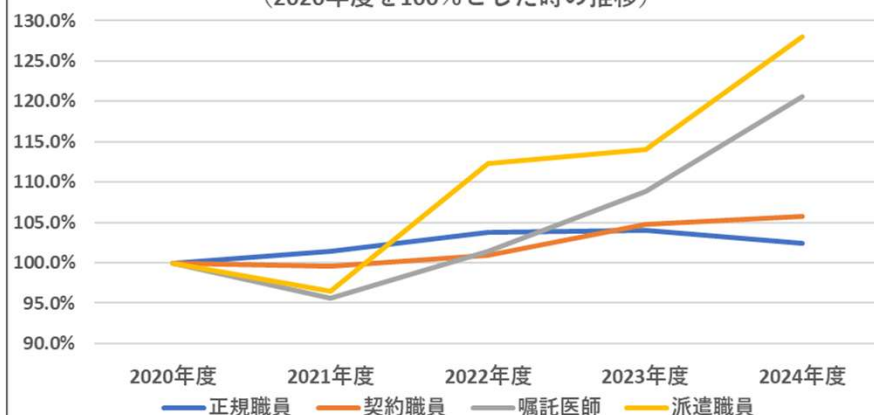
## 3-1.職員状況：職員数他

### ①各年4月1日時点の職員数推移（人）

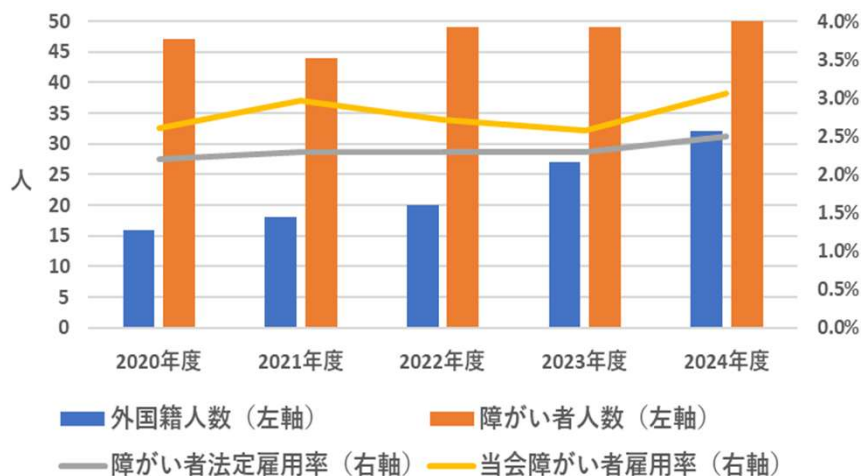
| 項目   | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 正規職員 | 1,174  | 1,190  | 1,218  | 1,221  | 1,202  |
| 契約職員 | 1,115  | 1,110  | 1,126  | 1,168  | 1,179  |
| 嘱託医師 | 68     | 65     | 69     | 74     | 72     |
| 派遣職員 | 57     | 55     | 64     | 65     | 73     |
| 合計   | 2,414  | 2,420  | 2,477  | 2,528  | 2,526  |

### ②雇用形態別職員の増減率

（2020年度を100%とした時の推移）



### ③外国籍・障がい者職員

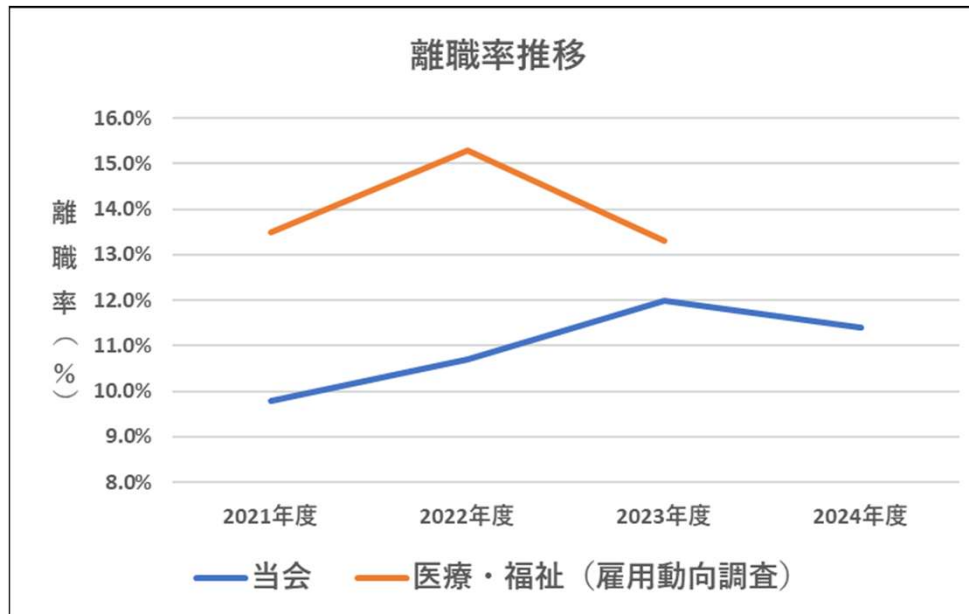


①安定した雇用を維持しています。

②正規職員数がやや減少し、派遣職員数が大きく伸びています。

③年々外国籍職員が増えています。  
当法人のサービスを支える重要な担い手となっています。  
また、障がい者雇用率は、3.1%です。  
法定雇用率（2.5%）を0.6%上回っています。

## 3-2.職員状況：離職状況



### 離職率推移

2021年度から2023年度にかけて上昇していた離職率が、2024年度は下降しました。また、当法人の離職率は全国平均（雇用動向調査）を下回っています。（2024年度雇用動向調査は現時点で未発表）

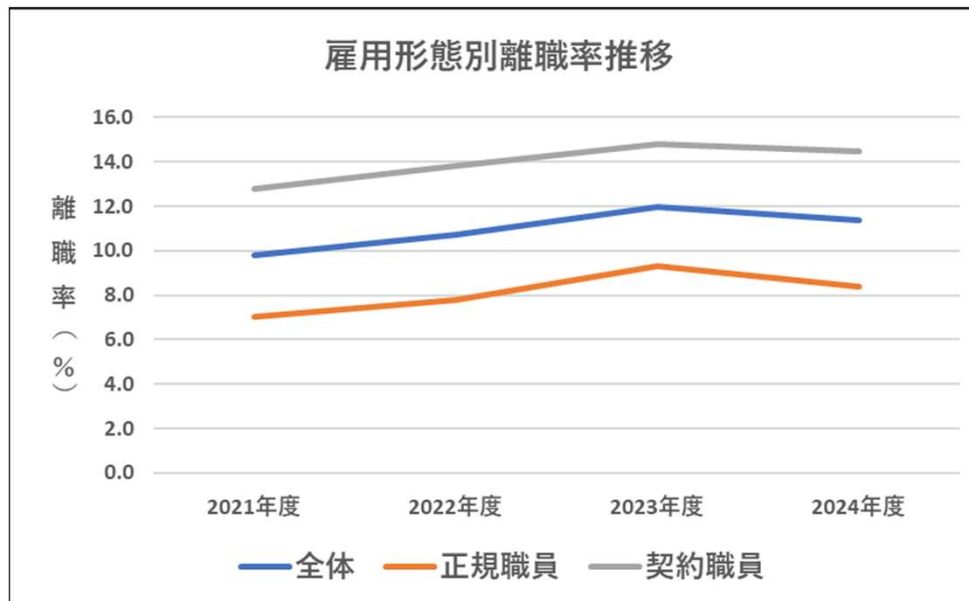
### 雇用形態別離職率推移

当法人に現在いる人材を大切にし、定着率を上げる取り組みを強化しました。それにより正規職員及び契約職員ともに上昇していた離職率が、2024年度は下降しました。具体的取組例は下記のとおりです。

◎各部署における対応：職員個々の働き方ニーズへの柔軟な対応（仕事内容や勤務時間等）

◎人事課による個別面談の強化：早期に面談を実施することで不安感の軽減につながり、退職を留まるケースが増加

◎「令和6年度ストレスチェック実施結果」では、当法人は職場のサポート体制が全国平均を上回っています。上司や同僚のサポート体制が強く、働きやすい環境にあると言えます。



| 項目    | 職場のサポート |         |
|-------|---------|---------|
|       | 上司のサポート | 同僚のサポート |
| 全国平均  | 7.3     | 8.0     |
| 業種平均  | 7.4     | 8.1     |
| 天竜厚生会 | 7.5     | 8.3     |



## 4-1.施設整備に関する件

### 令和6年度社会福祉施設等施設（設備）整備事業

（単位：円）

| No. | 事業所名（整備内容）                            | 総額         | 自己資金       | 補助額 |
|-----|---------------------------------------|------------|------------|-----|
| 1   | 子育てセンターさやのもり（空調機更新工事）                 | 42,130,000 | 42,130,000 | 0   |
| 2   | 子育てセンターこまつ・グループホームかみじま<br>（外壁塗装等改修工事） | 18,480,000 | 18,480,000 | 0   |
| 3   | さいわい（2階食堂及び廊下ファンコイル更新工事）              | 20,460,000 | 20,460,000 | 0   |
| 4   | 百々山（既存棟屋根等改修工事）                       | 11,385,000 | 11,385,000 | 0   |
| 5   | 登呂の家（GHP屋外機更新工事）                      | 13,200,000 | 13,200,000 | 0   |
| 6   | しんぱらの家（3階系統空調機更新工事）                   | 40,700,000 | 40,700,000 | 0   |
| 7   | 赤松寮（ロッカー他改修工事）                        | 31,570,000 | 31,570,000 | 0   |
| 8   | 本部（ファイルサーバー他更新）                       | 16,823,400 | 16,823,400 | 0   |

## 4-2.施設整備に関する件

### 助成団体による整備事業

(単位：円)

| No. | 事業所名（整備内容・助成団体名）                                       | 総額        | 自己資金      | 補助額       |
|-----|--------------------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 1   | 放課後等デイサービス事業やまぼうし（長胴太鼓等整備）<br>（社会福祉法人清水基金文化芸術活動特別助成事業） | 399,300   | 99,300    | 300,000   |
| 2   | 厚生寮（車椅子搭載型軽自動車の買い替え）<br>（公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団施設整備等助成事業）  | 1,661,058 | 661,058   | 1,000,000 |
| 3   | グループホームかみじま（空調機更新工事）<br>（社会福祉法人静岡県共同募金会赤い羽根福祉施設機器整備事業） | 4,950,000 | 1,950,000 | 3,000,000 |



#### No.1 放課後等デイサービス事業やまぼうし（長胴太鼓等整備）

開設以来「共に育ち合う」ことを目指し、日常的に子育てセンターかきのみ園児との交流を図っています。

友達と音色を合わせることの感動や和太鼓独特の音や響きを味わい、情緒の安定を図ることができました。



#### No.2 厚生寮（車椅子搭載型軽自動車の買い替え）

厚生寮は、中山間地域や歴史ある住宅街にお住まいのご利用者も多く利用されています。

助成をいただき整備した福祉車両を活用することで、ご利用者に負担の少ない送迎が可能となり、中山間地域の福祉サービスを安定的に提供できるようになりました。

## 5-1.人材育成（研修）

職員が自身の勤続年数等に合わせてキャリアアップする機会として、各種研修を開催しました。これにより、法人として高いサービスの質を担保しています。法人全体で開催した主な研修は下記のとおりです。

- （1）職員全体研修
- （2）新任職員研修【総合職・ケアワーカー・保育職】
- （3）新任職員フォローアップ研修【対象者：高等学校新卒採用者】
- （4）新任職員ステップアップ研修【対象者：新卒採用者】
- （5）ジャンプアップ研修【対象者：入社3年目～5年目職員】
- （6）パワーアップ研修【対象者：入社6年目以上の職員】
- （7）中堅職員フォローアップ研修
- （8）主任初任者研修【対象者：新任主任】
- （9）実践リーダー研修【対象者：主任昇格4年目職員】
- （10）係長初任者研修【対象者：新任係長】
- （11）新任管理職研修【対象者：新任管理職】
- （12）管理職研修【対象者：5等級】
- （13）契約職員研修【対象者：契約職員（週30時間以上契約者）】
- （14）健康医療課主催職員研修会



## 5-2.人材育成（研修）



### 主任初任者研修

主任昇格者を対象に開催しました。主任の役割を理解するとともに人事考課制度の仕組みや方法についても学びました。参加者からは「職員の手本になるように仕事をしたい」「部下に正確にわかりやすく指示を出すことの重要性を再考できた」など今後の仕事のレベルアップにつながる時間となりました。



### ジャンプアップ研修：基礎研修Ⅰ期

入職3年目を迎える職員を対象に開催しました。入職から2年が経過し当法人での経験を積む中で、同期の仲間との意見交換を行いました。これまでのキャリアを振り返り、「働く価値」や「価値観の多様性」を体感し、さらなる成長のための「実践力」を学ぶことで、明日からの仕事へのモチベーションにつながる機会となりました。

## 5-3.人材育成（研修）

各部門において必要とされる研修を企画・実施することで職員のレベルアップを図りました。

### やさしく学べる介護の基本講座

参加者：新任職員や外国籍職員

当法人で働く外国籍職員数は年々増加しており（2025年6月1日時点32名）、当法人のサービスを支える重要な担い手となっています。そんな外国籍職員や新任職員向けに福祉関連の法制度や介護技術について、基本的用語から学べる研修を開催しました。知識技術の向上はもちろん、外国籍職員のネットワークづくりにもつながりました。



食形態の違いを学んでいます



講義の様子

### 強度行動障害のある方への支援学習と報告会

参加者：当法人知的障がい関係施設職員

当法人の障害者支援施設では、他法人では受け入れ困難な強度行動障害者を積極的に受入れています。2024年度は赤石寮（生活介護通所事業）の定員を5名増やし受入体制を強化しました。支援の専門性を高めるべく、年間を通じ強度行動障害者支援に関する学習・各施設での実践を行いました。また実践報告会で事例や成果を共有し、当法人の強度行動障害者支援の専門性を高めました。

## 6.広報に関する件

当法人の認知度を向上させる手段として、広告、看板、広報誌あかまつ、ホームページ等を運用しています。さらに多くの方々に当法人の情報を届けるため、その手段を広げ法人の知名度が上がっています。

### 天竜厚生会Instagramの開設

当法人の認知度をさらに向上させるため、天竜厚生会Instagramを開設しました。より多くの方々に当法人を認知いただくことでサービスの必要な方々に情報が届くよう、タイムリーに情報を発信しています。



天竜厚生会Instagramより抜粋

### 法人外発表：抜粋

2024年度は、当法人職員が各地の大会で8つの法人外発表を行いました。当法人の日々の取り組みが、より広く認知される機会となりました。

| No. | 大会名等                | 題目                               | 発表部署        |
|-----|---------------------|----------------------------------|-------------|
| 1   | 全国社会福祉法人経営者大会       | 天竜厚生会における管理会計実践事例                | 経営企画課       |
| 2   | 経営者向け導入セミナー         | 中小企業のダイバーシティ経営セミナー～多様な「介護人材」の創出～ | 人事課         |
| 3   | 天竜地区安全運転管理者講習       | 天竜地区安全運転管理推進事業所活動報告              | 設備情報管理課     |
| 4   | 日本障害者歯科学会第41回学術大会   | 強度行動障害のあるご利用者への取り組み～ご利用者Yさん～     | 赤石寮         |
| 5   | 共生型福祉施設運営者交流会       | 共生型福祉施設運営者交流会・実践報告会              | 天竜厚生会アクシア藤枝 |
| 6   | 日本福祉大学提携社会福祉法人合同研修会 | 私と福祉教育                           | あかいし学園      |



## 7.地域における公益的な取組（一部抜粋）

法律で定められている事業の他に、当法人独自の事業を行い地域に貢献しています。



サンストリート浜北こもれび  
GARDENでのイベントの様子

### みゅうの丘協議会

当法人は、天竜病院、天竜特別支援学校と「みゅうの丘協議会」として日頃から連携を図っています。災害時の協力体制の強化や交通安全週間に合わせた広報活動、地域での作品展に合同出店しました。「みゅうの丘共同イベントMEW FES!!」では、3事業者の特色を活かした企画を幅広い年齢層の来場者に楽しんでいただき、地域活性に寄与しました。

### 地域観光地の清掃活動

天竜商工会をはじめ地元企業や天竜高校の有志とともに、清風寮の入所者及び職員が参加し天竜区内観光地の清掃活動を毎月実施しました。ご利用者にとっても、毎月の社会参加の機会を得て、生活意欲の向上につながっています。

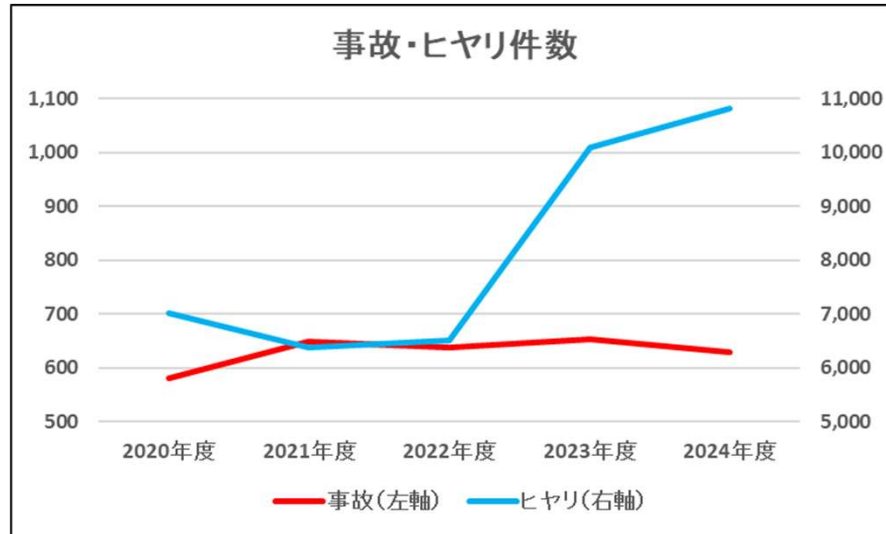


清瀧寺信康廟 清掃活動の様子

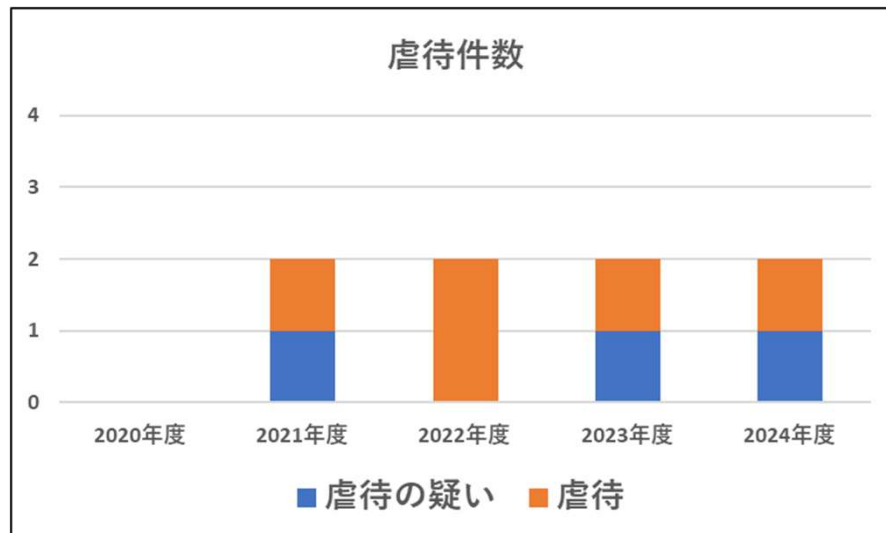


## 8. リスクマネジメント関係：事故・ヒヤリ、虐待

ご利用者の安全と権利を保障し健全な事業活動を推進するために、サービスを提供する事業者としての責任を自覚するとともに、当法人が行う諸活動において被るリスクを明らかにして、予防及び被害や損害を最小限に留めるためのリスクマネジメント体制の整備と活動の促進を行っています。



2024年度は2023年度と比較してヒヤリが721件増加し、事故が37件減少しました。ヒヤリ報告書について、より多くの情報を分析し事故防止につなげる為、2023年度よりヒヤリ報告書を簡易的な様式に変更しました。それにより多くのヒヤリ事例を集積することができ、集積結果から得た対策を各部署が講じたことにより事故件数の減少につながったと考えられます。



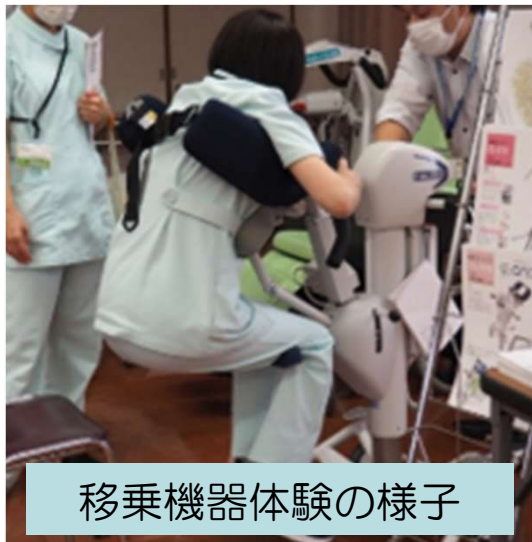
2024年度は虐待1件、虐待の疑い1件でした。各種別の虐待防止法に基づいて管轄の行政官庁に通報するとともに、当法人の虐待防止マニュアルに沿って真摯に対応しました。法人虐待防止委員会のなかで本事案を報告し、第三者委員からは虐待を組織で防ぐ雰囲気づくり（例えば、職員同士の声かけや相談体制等）のアドバイスをいただき、管理職会議等をつうじて全職員向けに展開をしました。

## 9. その他特記事項

### 天竜厚生会機器展の開催

各施設とつながりのある業者の協力により、研修センターにて天竜厚生会機器展を開催しました。見守り機器や移乗機器、嚥下測定機器や排泄検知機器などの福祉機器だけでなく、大型タッチパネルモニターなどの事務機器も展示しました。

当日は当法人ケアワーカーを中心に約100名が参加し、業者から詳しい説明を聞いたり、実際に機器を体験しました。特に泡シャワーは参加者から好評で、高齢者施設や障がい者施設など計8施設が2025年度購入を予定し、サービスの質の向上及び職員の業務負担の軽減に繋げていきます。



移乗機器体験の様子



泡シャワー体験の様子



衝撃吸収マットの体験

# 10-1.財務状況：資金収支計算書概要

| 勘定科目      | 本業           | 金額（円）          |
|-----------|--------------|----------------|
| 事業活動収入計   |              | 15,011,454,364 |
| 事業活動支出計   |              | 13,587,007,382 |
|           | 事業活動資金収支差額   | 1,424,446,982  |
| 施設整備等収入計  |              | 150,159,750    |
| 施設整備等支出計  |              | 759,368,593    |
|           | 施設整備等資金収支差額  | ▲ 609,208,843  |
| その他の活動収入計 |              | 522,973,103    |
| その他の活動支出計 |              | 956,482,005    |
|           | その他の活動資金収支差額 | ▲ 433,508,902  |
|           | 当期資金収支差額     | 381,729,237    |
|           | 当期末支払資金残高    | 9,133,958,388  |

- 事業活動資金収支差額が＋14.2億円であり、当法人の本業（福祉サービスの提供）により支払資金が14.2億円増加しました。本業が好調であることを示しています。
- 施設整備等に7.5億円支出し、施設整備等資金収支差額は▲6.0億円、その他の活動資金収支差額は▲4.3億円であり、当期資金収支差額は＋3.8億円でした。
- 当期末支払資金残高（正味の運転資金）は増加し91.3億円になりました。



# 10-2.財務状況：事業活動計算書概要

| 勘定科目       | 本業          | 金額（円）          |
|------------|-------------|----------------|
| サービス活動収益計  |             | 14,901,227,979 |
| サービス活動費用計  |             | 14,168,875,305 |
|            | サービス活動増減差額  | 732,352,674    |
| サービス活動外収益計 |             | 111,555,587    |
| サービス活動外費用計 |             | 93,185,710     |
|            | サービス活動外増減差額 | 18,369,877     |
|            | 経常増減差額      | 750,722,551    |
| 特別収益計      |             | 154,050,036    |
| 特別費用計      |             | 181,821,893    |
|            | 特別増減差額      | ▲ 27,771,857   |
|            | 当期活動増減差額    | 721,400,794    |
|            | 次期繰越活動増減差額  | 17,596,164,041 |

- サービス活動増減差額は＋7.3億円でした。当法人の本業（福祉サービスの提供）により利益が出ました。
- サービス活動外増減差額、特別増減差額を加えて、当期活動増減差額は＋7.2億円でした。
- 次期繰越活動増減差額は175.9億円に増加しました。

# 10-3.財務状況：貸借対照表概要

(単位：億円)

| 項目     | 当年度末  | 増減 (対2023年度) | 項目                     | 当年度末  | 増減 (対2023年度) |
|--------|-------|--------------|------------------------|-------|--------------|
| 流動資産   | 102.5 | 3.9          | 流動負債                   | 17.2  | ▲ 0.6        |
| 固定資産   | 252.2 | ▲ 2.4        | 固定負債                   | 11.0  | ▲ 2.2        |
|        |       |              | 純資産                    | 326.5 | 4.3          |
|        |       |              | (純資産の内<br>その他の積立<br>金) | 69.4  | 3.4          |
| 資産の部合計 | 354.7 | 1.5          | 負債及び純資<br>産の部合計        | 354.7 | 1.5          |

貸借対照表は2025年3月31日現在の財務状況を表しています。

資産の部合計（負債及び純資産の部合計）354.7億円

(対2023年度差額+1.5億円)

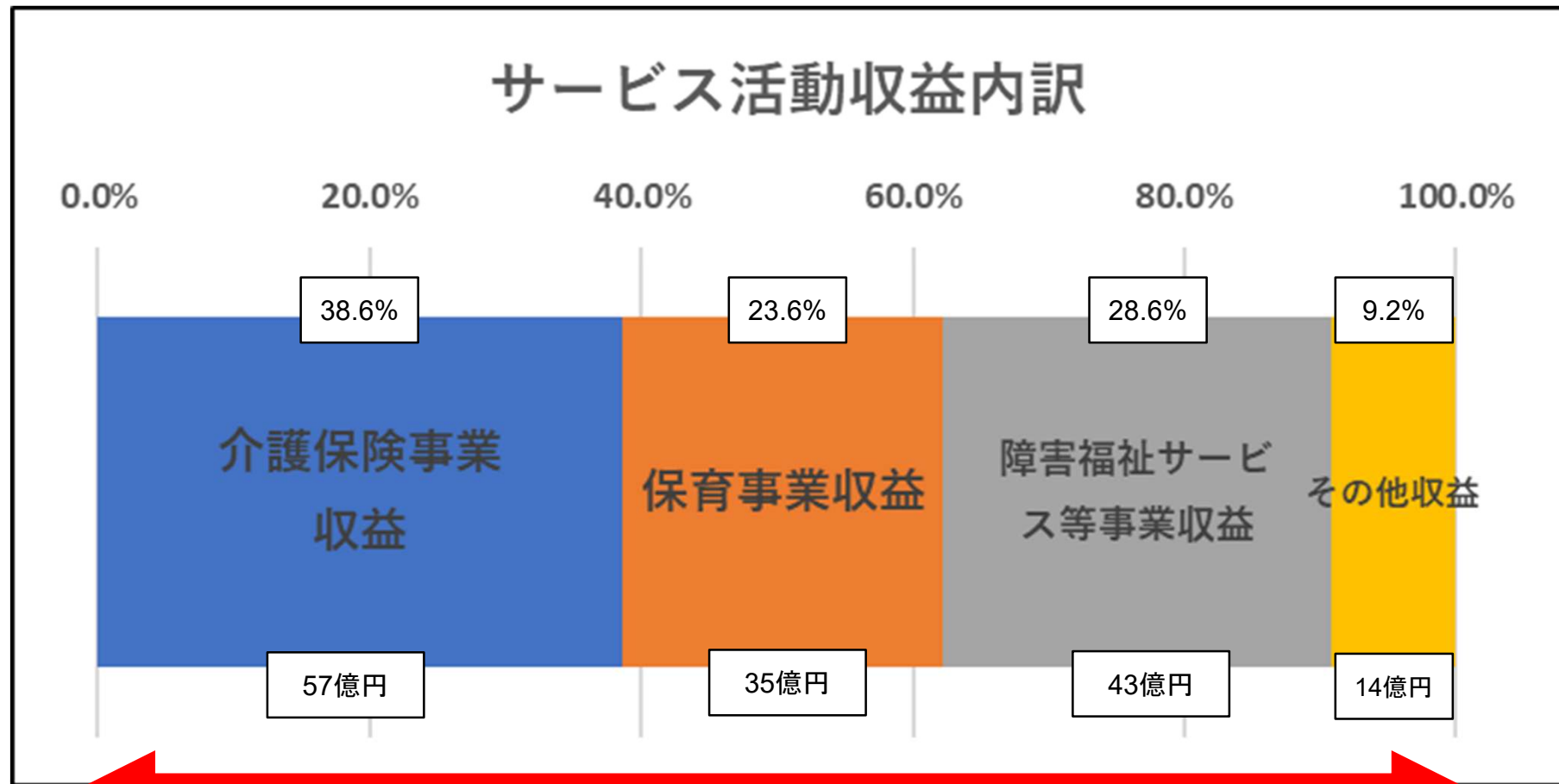
以降括弧内は増減額（億円）と増減の主な理由

流動資産102.5億円（+3.9：現金預金増）、固定資産252.2億円（▲2.4：減価償却による価値減）

流動負債17.2億円（▲0.6：1年以内返済予定設備資金借入金減）、固定負債11.0億円（▲2.2：設備資金借入金減）

純資産326.5億円（+4.3：次期繰越活動増減差額増）、その他の積立金69.4億円（+3.4：積立>取崩）

# 10-4.財務状況：サービス活動収益内訳



主たる事業（介護保険収益、保育事業収益、障害福祉サービス等事業収益）が90%を占めており、その他収益を含めたサービス活動収益149億円から7.3億円のサービス活動増減差額（本業の利益）を出しました。

約149億円

本業の利益  
7.3億円

この利益は、  
法人の将来  
のために積  
み立てます。



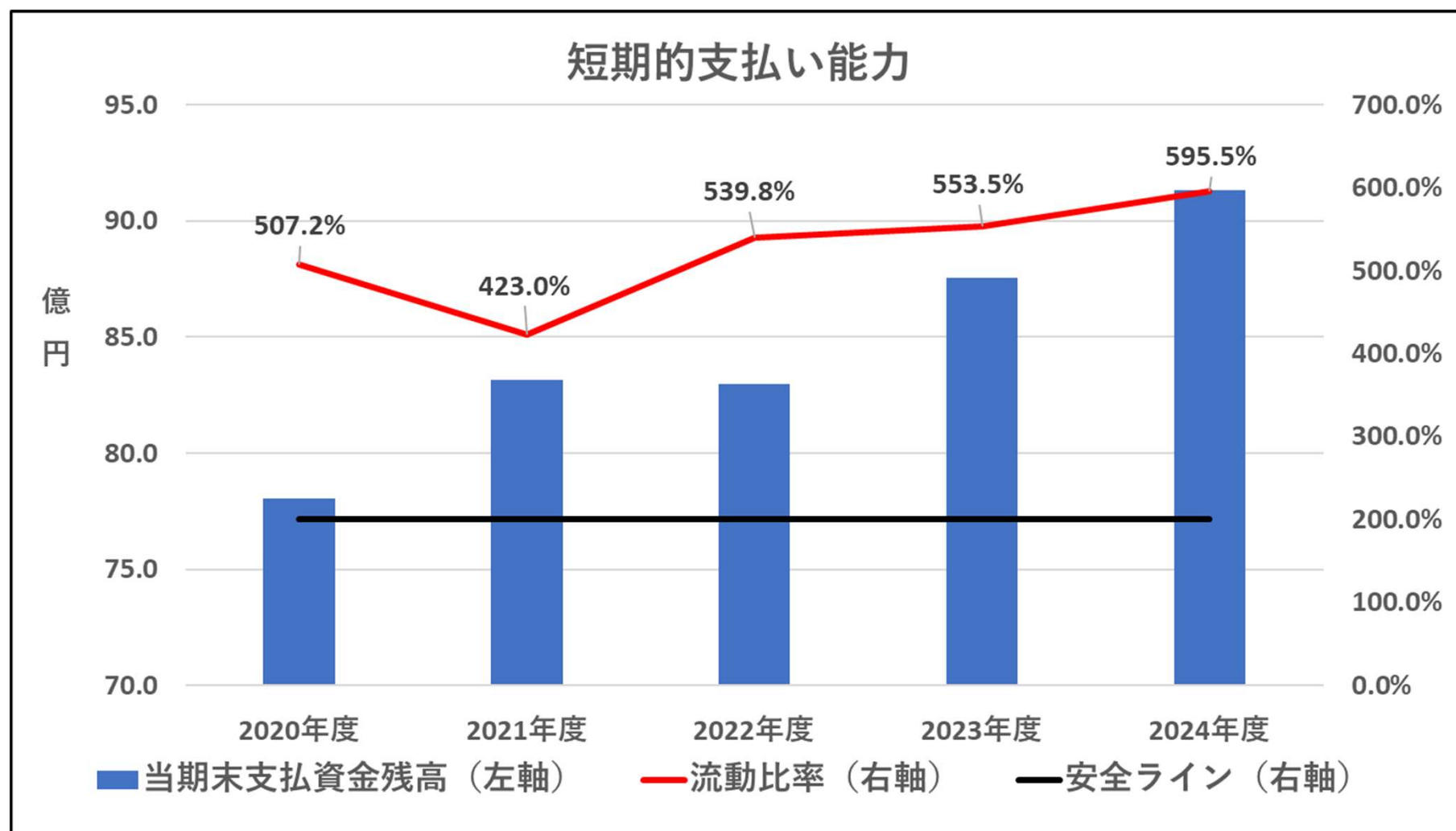
## 10-5.財務状況：その他の積立金内訳

将来の特定の目的の費用又は損失に備えるために、目的に応じた積立金を積み立てています。2023年度よりも約3.4億円の積立金を増やすことができました。

| 内訳           | 金額（単位：円）      | 目的                         |
|--------------|---------------|----------------------------|
| 人件費積立金       | 176,052,000   | 将来の人件費に備える目的               |
| 施設設備整備積立金    | 3,443,167,660 | 将来の建物増改築・修繕、備品等購入・修繕に備える目的 |
| 保育所施設設備整備積立金 | 1,823,860,886 | 将来の建物増改築・修繕、備品等購入・修繕に備える目的 |
| 減価償却積立金      | 1,233,910,000 | 将来の建物改築・修繕、備品等購入・修繕に備える目的  |
| 工賃変動積立金      | 45,578,259    | 将来の工賃支払いに備える目的             |
| 設備等整備積立金     | 220,932,475   | 将来の設備等更新に備える目的             |
| 合計           | 6,943,501,280 | 2023年度との差額+343,976,040円    |

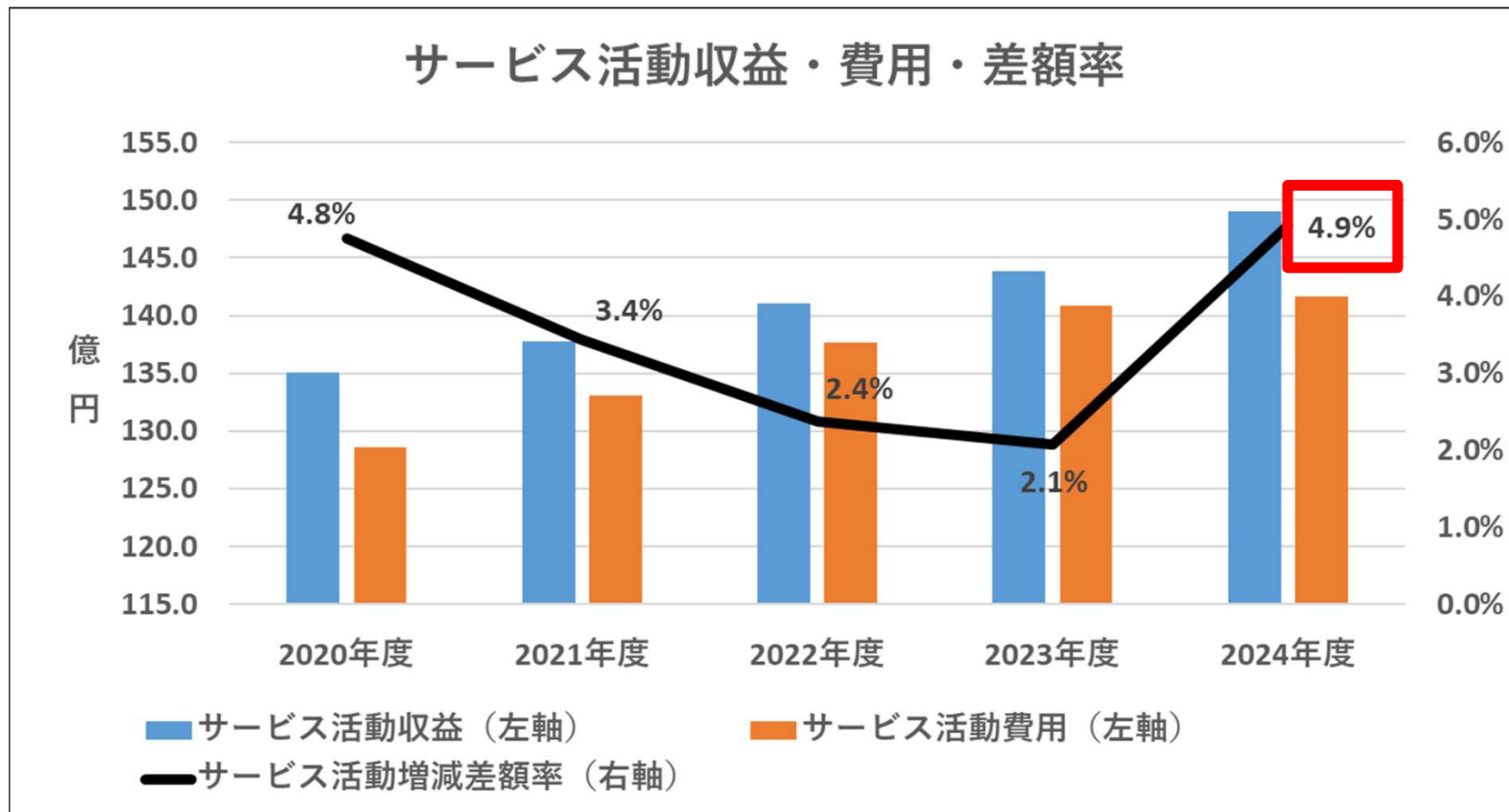
# 10-6.財務状況：短期的支払い能力

- 2024年度当期末支払資金残高 91.3億円（2023年度と比較して3.8億円増）
- 2024年度末流動比率 595.5% 2023年度から上昇しました。安全ライン（200%）を大きく上回っており短期的支払い能力の高さを示しています。



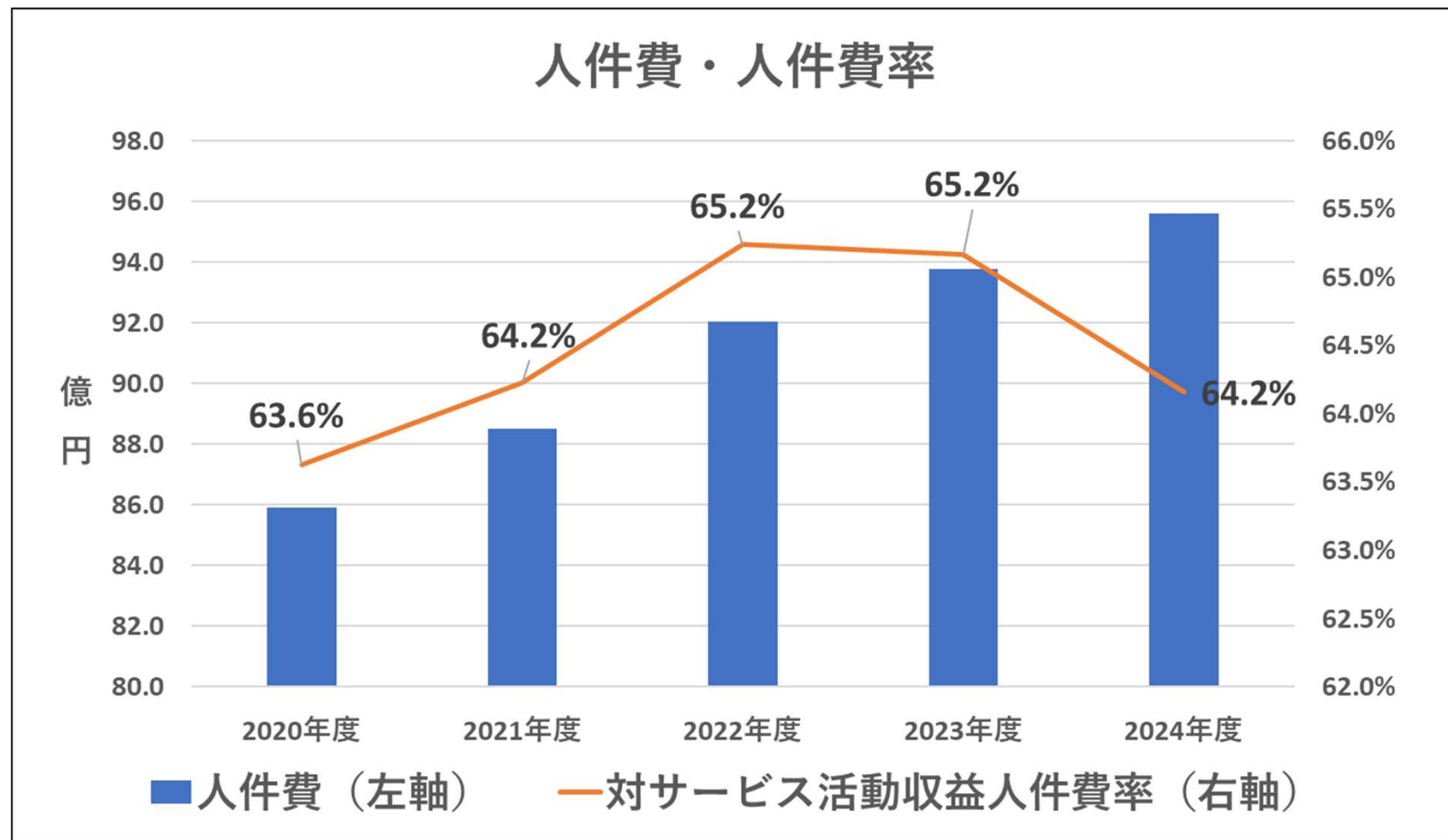
## 10-7.財務状況：サービス活動増減の部経年比較

- サービス活動収益・費用ともに増えています。
- サービス活動増減差額率は4.9%であり、2020年度以降の下降傾向から上昇に転じています。
- 2024年度：サービス活動収益：149.0億円、サービス活動費用：141.7億円  
サービス活動増減差額：7.3億円



## 10-8.財務状況：人件費・人件費率

- 人件費は年度ごとに増えています。
- 対サービス活動収益人件費率は、2023年度より1%減少の64.2%でした。人件費は増えてましたが、それ以上にサービス活動収益が増えた為、対サービス活動収益人件費率が下がりました。





# 以上で報告を終わります



天竜厚生会経営企画課SDGsゆるキャラ  
「さすらび」